

あなたと町政を結ぶ



議会だより



巫女による おごそかな太刀の舞 西嶋地区 天照皇大神宮祭 (沢奥さおきのまつり)

2017
GIKAI DAYORI
MINOBU
No.51



過去の議会だよりは、こちらから
閲覧できます。

6月定例会

■ 町長行政報告	P.2
■ 町民と議員との懇談会	P.3 ~ 5
■ 一般質問	P.6 ~ 9
■ 総務産業建設常任委員会レポート	P.10 ~ 11
■ 教育厚生常任委員会レポート	P.12
■ 質疑応答	P.13
■ 追跡	P.14
■ 議案に対する賛否	P.15
■ 表彰、町村議会議員研修、全国町村議会正副議長研修会、 組合議会報告	P.16
■ 議員研修会、町村議会広報研修会	P.17
■ 身延町の各種委員一覧表	P.18
■ モニター通信	P.19
■ おじゃまします	P.20

町長行政報告



望月幹也町長

あけぼの大豆の6次産業化に向けて

●「あけぼの大豆」の生産・加工・流通につなげる6次産業化のために

今年3月廃校になった原小の校舎を活用し「あけぼの大豆拠点施設」整備を進めている。8月下旬竣工を目標に枝豆収穫時期には本格稼働の予定である。

●28年度決算処理は

一般会計及び特別会計の決算処理が5月末日に行われた。

全会計において黒字決算となり、会計事務が完了した。

●地方交付税1億円減額

前年度比較で約1億円の減額が見込まれる。厳しい財政状況だが、積極的な事業展開を図りつつ、有利な補助金・地方債等を使いながら効率的・持続的な財政運営を図っていく。

●身延町議会議員選挙

身延町議会議員の任期が今年10月31日満了となることから10月17日告示10月22日投票で実施されることが選挙管理委員会決定された。

●農業委員・農地利用最適化推進委員の選任

昨年、農業委員会等に関する法律の改正が行われ、農業委員の選任が従来の選挙制度から議会の同意を必要とする町長の任命制に変更された。現在の委員の任期満了が7月19日となるため、農業委員の14名について6月議会で同意を得た。農地利用最適化推進委員12名は新農業委員会での評価・選考することになる。

●日本一のしだれ桜の里づくり事業

高校生の提案を基に計画

し、町内のイメージアップを図り、観光に結び付けるために、富士川クラフトパーク公園内に5000本を植栽する計画で、これまでに約2000本を植栽した。本年度は、クラフトパークに引き続き町内全域の公園・公民館敷地等に植栽する計画で、各区に希望本数を募集することになっている。

●インバウンド対応看板

設置場所は、①JAふじかわ中富直売所②富士川クラフトパーク③感井坊④みぶゆばの里⑤大島農林産物直売所⑥湯の奥金山博物館⑦身延山総門駐車場⑧なかとみ和紙の里⑨門内仲町駐車場⑩JR身延駅口⑪ターリー⑫中之倉展望台⑬道の駅しもべ⑭下部温泉駅前⑮下部朝市の広場である。



各地に設置されたインバウンド対応観光看板

●身延清稜小学校・下山小学校の開校

身延清稜小と下山小が4月6日に開校した。期待に胸ふくらませた新入学生が加わり、新たな一歩が力強く踏み出された。

●公共下水道の加入状況

今後引き続き加入率アップにご理解ご協力を。

町民と議員との懇談会



下部地区

＊と き 平成29年5月26日(金)

午後7時30分から午後9時20分

＊会 場 働く婦人の家(久那土)

＊参加者 計20人

(町民6人、議員12人、事務局2人)

質 疑 応 答

Q1 みのぶ自然の里は本当に活用できるのか。成功する見込みはあるのか。ないのであれば途中でやめた方がよい。(久那土地地区 男性)

A1 なかとみ青少年自然の里が県から無償譲渡されたことから始まったものだが、建物の改修・人材の活用・指定管理者の選定・特別交付金の遅れなど問題がある。

Q2 廃校利用について、町は何か計画があるのか。(下部地区 男性)

A2 旧中富中は、ドローンの工場として賃貸している。今年廃校になった原小はあけぼの大豆の拠点施設として利用されることになっているが、その他は特に聞いていない。町は、地域の要望によって利用を決めたいと言っている。

Q3 町にはいろいろな施設があるが、一つでも黒字のものはあるのか。そんな中で、「自然の里」をというのは納得できない。また、副町長を置く意味が分からない。副町長も身延町に住んでいないと聞いているが本当か。(下部地区 男性)

A3 黒字の施設はない。副町長は元県職員で甲斐市の敷島から通勤している。

Q4 久那土小の7人中1人だけが身延中で残りは六郷と甲府の中学校へ行ったということだが議員はどう考えるか。(久那土地地区 男性)

A4 ①こうなることは予見できた。学校がない町に人は住まない。
②学校統廃合で皆さんには迷惑をかけた。今後は、本町の子どもは本町の学校に通えるよう努力したい。

Q5 自然の里に賛成した議員の考えを聞きたい。(久那土地地区 男性)

A5 昨年9月議会に議案が出されたときは、町の準備不足だと考え反対したが、11月臨時議会では、町長や町職員が一丸になってやるという熱意を感じて賛成した。

Q6 熱意や思いだけで成功するとは考えられない。失敗したときには誰か責任を取れるのか。町長や賛成議員が取るのか。(久那土地地区 男性)

A6 今、NPO法人が指定管理者として準備をしている。なんでもリスクはつきものだが、成功事例もある。

地域住民の声を聞く



身延地区

*とき 平成29年5月27日(土)
 午後7時30分から午後9時15分
 *会場 身延町総合文化会館
 *参加者 計32人
 (町民19人、議員11人、事務局2人)

質疑応答

Q1 みのがぶ自然の里の今年度予算の内容は。
 (豊岡地区 男性)
A1 今までの青少年を対象とした施設から一般客を対象とする施設への整備費が主である。

Q2 自然の里が県から町の施設になったが、議員はスナナリ賛成したのか。
 (身延地区 男性)

A2 ①昨年9月議会に初めて説明がされ、関係予算が計上されたが、その時は説明不十分で不採択となった。その後、数回の説明で11月に賛成多数で採択された。
 ②あの場所を観光拠点とするのには不安がある。個人的にはリスクが大きい事業であり反対する。

Q3 27・28年の地方創生事業の検証結果は。
 (豊岡地区 男性)

A3 地方創生事業検証委員会において、4つの事業について計画どおり実施されていることが報告されている。

Q4 自然の里について、最終的には苦渋の選択で議決したと思うが、その経過をしっかりと説明してほしい。
 (身延地区 男性)

A4 実際、最初は反対意見が多かったが、最終的には議員一人ひとりの考えの中で僅差で採択された。

Q5 町財政が厳しい中で、副町長は必要なのか。
 (下山地区 男性)
A5 ①町長は町外出張が多いので、決裁を速やかにするには副町長が必要と感ずる。
 ②議員も全員賛成ではなく、必要性を強く感じない議員もいた。

提言・意見・要望

○自然の里で3年間交付金が出る期間後、立ち行かなくなったときには撤退することも考えてほしい
 ○南部中と身延中と比較して南部中の生徒数が8人多い。人口比からいえば逆だと思うが町の施策をしっかりとお願いしたい。
 ○観光の町づくりのため、専門的知識を持った人材を職員として採用すべきではないか。
 ○数回、懇談会に参加しているが、人の意見を聞くことが勉強になる。まちづくりは人任せではなく、役場職員・議員・町民がそれぞれのポジションの役割を果たさないと良いまちづくりはできない。
 ○懇談会に若い人が参加するような努力をお願いしたい。

町民と議員との懇談会



●中富地区

＊と き 平成29年5月28日(日)

午後7時30分から午後8時52分

＊会 場 飯富ふれあいセンター

＊参加者 計21人

(町民8人、議員11人、事務局2人)

質 疑 応 答

Q1 みのがぶ自然の里事業は国がすべてを負担するとの説明であったが、その後、町の負担があると聞いた。

採算が見込めないので撤回した方が良い。

(下部地区 男性)

A1 議案には反対したが議決されたので議員としては議決を尊重して良い方向にいくように努力する。

Q2 賛成した議員の意見は

(西嶋地区 男性)

A2 ①3年間は町の負担と国の交付金で賄い、4年目からは自主事業として運営できるように観光課と他部署も連携して進めていこうと言っている。

②施設整備費は交付金が50%で残りは合併特例債を利用するが、最終的に町の負担は約17%になると思われる。まだ十分利用出来る施設をこのまま取り壊すのはもったいないと考えた。

③新規事業は不安と期待があるが職員の間を良くしようとするチャレンジ精神を強く感じた中での苦渋の選択であった。

Q3 久成地区のリンケージ農園事業は誰が何をするのか

(大須成地区 女性)

A3 移住者や町外の農地を持たない人に農地を貸し出して休耕地を有効活用することにより交流人口を増やすのが目的。

町外者で複数日にわたり耕作する時には宿泊施設として自然の里を利用してもらうことも考えていると説明された。

提言・意見・要望

○富士川町や南部町の道の駅は繁盛している。

高齢者等が持ち込んで販売できる場所が欲しい、そのことにより生きがいを感じ健康寿命が延びるのでは。

○懇談会は継続して欲しい。

参加者が少ない。

○町民が町政に参加できるよう議会サポーター制度を創ったらどうか。

○地震等の災害に備え廃校になった空校舎等を活用した防災用品等の備蓄を。

ここが聞きたい!

一般質問

問 統合した学校トイレの状況は

答 「学校施設整備計画」で検討



深澤 勝 議員

問 統合による各学校単位の児童生徒数は大幅に増加、

下山小は統合により68人増え、身延中では統合時79人も増えて192人になった状況である。健康で快適な学校生活を送る為のトイレは最も重要な施設であるが、文科省では便器の設置数等の基準を定めているのか。また、その基準に適合しているか。

学校教育課長 文科省には明確な基準はない。下山小以外は児童生徒数が多いときの学校建設なので設置数は不足はないと思われる。

問 学校トイレは和式便器が多く、衛生面でも大きな課題である。

大便器の設置数、洋式便器数と洋式化率、児童生徒数に対する設置割合は。

学校教育課長 大便器の設置数は、身延清稜小14個、下山小31個、身延中24個。

洋式便器数と洋式化率は、身延清稜小8個で57・1%、下山小31個で100%、身延中8個で33・8%である。

身延中の洋式便器の設置割合は、227人に1個である。

問 身延中の大便器数、洋式化率は驚くほど低い。洋式便器への対策は。

教育長 環境衛生面も考慮し、本年度策定する学校施設整備計画において検討する。

要望 屋内体育館等、施設トイレも含めて速やかな対応を望む。



身延清稜小学校と下山小学校のトイレ

入学祝い金は入学前に

問 文科省は要保護世帯への

国庫補助金支給規則を改め、入学前支給を決定した。本町でも来春入学者から入学前支給の考えは。

教育長 来春入学者から入学

前支給に向け、要綱を見直し具体的に取り組む。

現代工芸美術館の運営

問 開館から19年が経過、教育的施設とはいえ、25年度から3年間の収支は。

生涯学習課長 3力年の総額で、歳出7633万7千円、入場料等の収入は325万8千円である。

問 町は3年間で約7300万円と、多額の財源を投入している。

地域産業と密着した展示販売等、活力を生み出す斬新的な利活用について開館20周年を節目に検討を。

教育長 設置目的を勘案し活性化にどう繋げていくか、親しみのある施設づくりに心がける。

問 築32年の下部温泉会館の改修は

答 「下部温泉の魅力アップ事業」で地元と協議

芦澤 健拓 議員



問 下部温泉会館のトイレは和式で、高齢者には不便だ

という利用者からの苦情があった。築32年で、浴室やシャワーなどの改修も必要だが、「まちひとしごと総合戦略」には、下部温泉の魅力アップも含まれている。温泉会館改修の予定は。

観光課長 「下部温泉郷の魅力アップ事業」として、地元と協議する中で今後の在り方も含め方向性を定めていきたい。

観光地のトイレは

問 役場のトイレも和式が多く、来訪者に便宜を図るためにも洋式にすれば、男子用は大小両用に使える。本町は観光の町であり、トイレ使用を目的に来る観光バスのお客様も多い。役場、学校だけでなく道の駅などの

観光地のトイレも見直しが必要だが。

観光課長 トイレについては町長の命を受け現在、調査中で、早ければ今年中にも改修を行っていく予定で計画を進めている。

温泉会館を公共の湯に

問 「公共の湯」と呼ばれる入浴施設が増えている。温



下部温泉会館浴室

泉会館も少し金をかけて金のとれる施設にしたらどうか。

副町長 「まちひとしごと総合戦略」の中で、温泉会館の活用は、今後のあり方も含め、地元と協議しながら検討していきたい。

「みのぶ自然の里構想」

問 下部地区の懇談会では「町民負担が増えることが

明らかかな事業はやめたほうがよい。失敗したときの責任は誰がとるのか」身延地区では「あんな場所に宿泊施設を作って誰が利用するのか」などの意見が出された。NPOなどの指定管理者が出てこなかったら町がこの事業をやっていくのか。今後のスケジュールはどのようになっているのか。

観光課長 町の直営は考えて

いない。当初、7月オープンの予定だったが交付決定が5月末となり、着手が6月からとなり秋のできるだけ早い段階に仮オープンしたい。

問 交付金の支給条件として食堂事業を付け加えられて

「地元食材の提供」「新メニューの開発」を追加したということだが、なにか計画はあるのか。

観光課長 地元食材は近隣区長に相談したところ協力がいただける話を頂いた。新メニューは関係者や専門家の意見を聞いて決める。

問 1泊2食で5300円、5800円と相当安価だが、インバウンド観光客がターゲットか。

観光課長 国籍・性別・年齢にとらわれることなく受け入れる施設とする。

問 子どもや保護者の思いに寄り添った対策を

答 統合準備の段階で決めた最善の策



渡辺 文子 議員

問 下山小の放課後の子ども達の安全面で問題があった。学校にいる間の子ども

の安全には責任を持って欲しい。また保護者への説明は、きちんとすべきだ。

教育長 手の空いている先生が子ども達の安全確認のためいろんな手だてを講じている。校長室や職員室からグラウンドが見渡せ把握ができると言っている。

問 低学年の子ども達は一斉下校で遅く帰って来るとクタクタなので早く帰らせて欲しいという保護者の話を聞いた。

学校教育課長 3名の保護者が、早い時間帯にもう1便、下校便を出して欲しいと要望があったと聞いたが、これからも保護者が不安を抱え続けるようなら学

校は困り感を理解する必要がある。

問 困り感でなく実際に親子で困っている。こうなると思ったから以前から質問をしてきているのに改善しないのはなぜか。

教育長 子ども達が一緒になって元気に遊ぶことは大切なことで統合の準備の段階で決めたことで最善の策だと思う。

入園・入学祝い金

問 総合戦略のなかで子育て世代が安心して暮らせる支援は先進的な施策と評価をしている。

その中で祝い金が入園、入学後に支給されているが、この制度に取り組んだ

趣旨は。

町長 入園・入学時の準備にかかる経済的負担の解消で来年度分からは入園・入学前に支給したい。

下部温泉駅

話し合い提案をしていく必要がある。

町長 J Rと協議をしているがJ R側の現駅舎のあり方が決まらないと進められない。準備は地元と協議しながら鋭意進めたい。

問 下部温泉駅の駅員配置をと以前にも質問したがその後の状況は。

下部支局長 80年経っている駅舎の建て替えを含め下部温泉駅利活用対策委員会やJ Rと協議をしている。

問 このままで建て替えるとしたら、甲斐岩間駅のように待合室があるだけになってしまう。

早急に住民を含めた



無人の下部温泉駅待合室

問 ふるさと納税の返礼品は

答 インターネットを活用し鋭意検討する

赤池 朗 議員



問 ふるさと納税制度が発足してからの寄附金の実績は。
政策室長 20年度からで計308件、4295万3千円である。

問 本町の返礼品はどのような基準で送っているのか。またその内容は。

政策室長 28年度までは、礼状と身延ふるさと便を活用した四季折々の特産品や金山博物館等の入場無料券を送付している。

謝礼という意味合いから社会通念に照らして町のイメージアップと魅力が発信できるような返礼品を整え、良識ある範囲内として3割以内と考えている。

問 納税してくれる人が選択することができるようにしたらよいと思う。

本町への誘客や特産品の



平成28年までの返礼品

アピール、認知度のアップにつながる返礼品として、例えば下部温泉や身延山の宿への無料宿泊券、和紙製造体験等、本町に来てもらえる返礼品もよいのではないかと。内容等の見直しや周知方法はどのように考えているか。

政策室長 宿泊券やえだまめ収穫体験の返礼品も鋭意検

討していく。29年度からインターネットを活用したふるさと納税ポータルサイトを通じて、ふるさと身延町を応援したいという全国にいるおおぜいの皆さまを募り、制度を充実させ広報、ホームページ等により全国に情報発信して周知していく。

町営バス

問 運行経路変更に伴う町民の反応はどうか。

政策室長 特に乗車状況を見ると多くの高校生等の通学に利用され、保護者からも好評を得ている。

問 身延鯉沢線を1回、往復便を増やすとかかる経費は。

政策室長 往復1便当たり年間約700万円、また古閑甲斐岩間線・古閑循環線は各

循環線年間約100万円。

消防団

問 合併後の消防団員数の推移は。

総務課長 136名減少し、29年4月1日現在団員数は693名である。

平均年齢は41.4歳で、団員の減少と高齢化が進んでいる。

問 オートマチック車免許や普通免許しか持っていない団員に対し、準中型免許や中型免許取得のための助成制度を創設したらよいと考えるが。

総務課長 今後の消防団活動を進めていく上で大きな課題である。団員確保の観点からも前向きに検討していきたい。

委員会レポート

委員長 広島 法明

問 しだれ桜の里づくり事業は

答 町全体で日本一を目指して進める

▼一般会計補正予算

財政課関係

問 合併特例債の発行額と返済残高は。

答 16年度より町の起債として発行しており、発行総額は28年度末で40億7460万円、返済残高は14億2303万2507円である。

政策室関係

問 コミュニティ助成事業助成金とは何か。

答 宝くじの社会貢献広報事業として実施して、コミュニティ活動に対する補助金で、今回、梅平一区から申請された活動事業が採択された。

問 この助成金は申請すれば必ず助成されるのか。

答 対象の事業は、コミュニティ活動の促進が図られることを目的として、お祭りの太鼓や法被等が対象になるが、申請

数などにより採択されない場合がある。

問 乗合タクシーに使用している車は町が所有するものか。

答 今、運行している路線を延長し、新たな地区への乗り入れには予算を増額するか。

問 乗合タクシーは、各事業者が所有する車両で運行している。予算は認可エリア内の運行で時間単位を基に年額が決まっているので、エリア内の延長なら増額はない。

観光課関係

問 しだれ桜の里づくり事業は、クラフトパークだけでなく、町全体での今後の事業展開の予定は。

答 4月の区長会で区の植栽希望本数の調査をお願いした。また、下山区区杉山から身延山への県道沿いにも植栽し、クラフトパークと身延山をつ

なぐルートとして考えていきたい。なお、みのぶ自然の里・句碑の里などにも植栽を検討していきたい。

問 その際の管理はどのようにする予定か。

答 基本的には地元にお願ひし、町全体として、日本一のしだれ桜の里づくりを進めていく。

問 河川堤防敷への植栽を検討しているか。

答 堤防敷への植栽は、木の根が堤防を壊す恐れがあるため、国土交通省での許可は難しい現状だが、適地があれば検討する。

▼工場立地法に基づく緑地面積

率等に係る準則を定める条例の制定(P13参照)

政策室関係

問 この条例は規制を緩和するといふ理解で良いか。

答 そのとおりである。町内で該当する事業者は6社だが、敷地内の利用度があり、また、今後の企業誘致にもつながるものと考えている。

▼職員の配偶者同行休業に関する条例の制定(P13参照)

総務課関係

問 同行休業中の給与は支給されるのか。

答 給与の支給はない。

問 今までに適用されるような事例があったか。

答 制度成立前に1例あった。

調査及び一般会計補正予算の審議は、教育厚生委員会と連携して実施した。

総務産業建設常任

【現地調査】

29年6月7日(水)

午後1時から

◎本栖湖展望地

(一般会計補正予算のうち
中之倉地内本栖湖展望地景
観整備業務委託料)

本栖湖の展望地景観保持
のため、県からの委託を受け
草刈を実施する場所。



本栖湖展望デッキ

中之倉展望地(千円札の
デザインとなった撮影地付
近)の供用が28年11月30日
から始まった。

利用者の安全性向上のため
におこなってきた展望デッキ、
解説標識等が設置された。

展望デッキまでは湖畔駐
車場から片道約30分の登山
道となる。



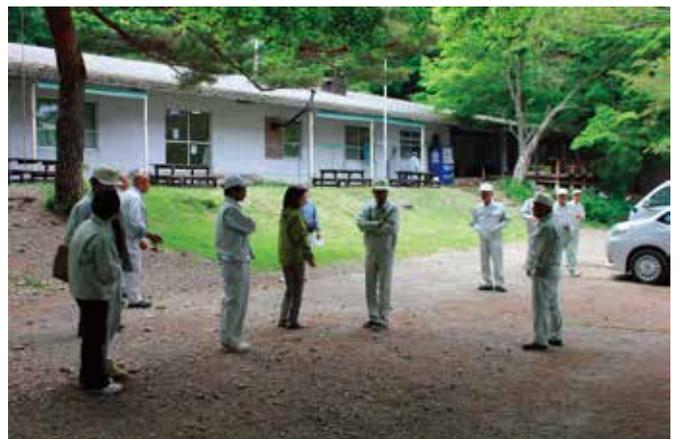
本栖湖展望地

◎本栖湖いこいの森 キャンプ場

森に囲まれたキャンプ場
で、本栖湖でのカヌーやカ
ヤックの体験が出来る。

インバウンド観光客が増
加傾向にあり、利用者は増
加している。

昭和49年に開設されてか
ら年月が経ち建物等の老朽
化が進み改修等が必要と感
じられた。



本栖湖いこいの森キャンプ場

教育厚生常任委員会レポート

委員長 田中 一泰

福祉保健課関係

▼地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 ケアマネージャーの資格更新研修の対象となる職員は何人か。

答 対象職員は3人。

問 役場の人事異動によって、主任ケアマネージャーの要件を満たさなくなることがあるのか。

答 条例に規定する人員基準を満たすよう、計画的に確保していく。

問 更新研修の導入によって、利用者に影響がでることはあるか。

答 影響はない。

問 地域包括センターの職員は何人か。

答 主任ケアマネージャー1人、保健師1人、社会福祉士相当職1人、事務職員1人、臨時職員のケアマネージャー2人、合計6人。

問 地域包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口としての機能を担っているが、28年度の相談件数は。

答 およそ700件から800件ほど。

問 主任ケアマネージャーの役割は。

答 民間のケアマネージャーの資質向上のため、研修の実施、相談対応、同行訪問等を行う。

▼介護保険 特別会計補正予算

問 介護保険システム改修の内容は。

答 制度改正に伴いこれらに対応したシステムの改修。

問 高額介護サービスの見直しの内容は。

答 介護サービス利用者には月々の利用者負担の上限額が設定されている。合計が上限を超えたときに、超えた額が払い戻される制度。下限が生活保護受給者で

1万5千円、上限が現役並み所得者に相当する方がいる世帯で4万4400円。

今回の見直しの対象は、世帯のどなたかが市町村税を課税されている方で、現行3万7200円が4万4400円に見直しされる。なお、3年間の時限措置で、一定の要件を満たす場合には、年間44万6400円(3万7200円×12カ月)の上限がもつけれられ、年間を通しての負担が増えないようにされる。

問 高額介護サービス費について本人宛に通知されるか。

答 本人に通知する。

▼介護サービス事業 特別会計補正予算

問 介護予防ケアマネジメント業務委託が年間121件の委託数を見込んでいるが介護予防プラン全体の件数は。

答 全体で、月120件(年間1440件)を見込んでいる。

子育て支援課関係

▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育施設事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正

問 払ふことと納税をすると保育料に影響はあるか。

答 所得割を計算する場合に適用しないとしているので、影響はない。

町民課関係

▼国民健康保険
特別会計補正予算

問 後期高齢者支援金及び介護納付金が減額補正された要因は。

答 納付金の額は、27年度の実績と29年度の推計により算定されるが、27年度の実績が推計よりも下回ったため。

質疑応答

議案第52号 工場立地法に基づく緑地面積率等に係る準則を定める条例の制定

芦澤議員 この表題が工場立地法に基づく身延町緑地面積率等に係る準則を定める条例になるんではないか。

政策室長 工場立地法は国の法律なので、工場立地法に伴って身延町が定めるといこと。

議案第53号 職員の配偶者同行休業に関する条例の制定

芦澤議員 25年の法律改正が、なぜ今、条例を制定するのか。さらに任命権者は町長と思われるが町長以外の任命権者は。

総務課長 該当事案はないと判断し制定を見送ってきたが配偶者同行休業申請のケースも考えられるために提案する。
任命権者は、町長、教

育長、議会事務局では議長が任命権者となる。

芦澤議員 適用しなければならぬという職員はいないので。

総務課長 現時点ではない。
議案第54号 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

渡辺議員 農業委員、農地利用最適化推進委員の能率給と財源は。

産業課長 担い手営農農地集積及び遊休農地の発生防止等の実績に基づく交付金を財源として支払う。

渡辺議員 どのくらいの報酬額か。
産業課長 活動実績により1人当たり月額約6千円程度と思われる。

川口議員 農業委員名簿に非農業者もいる。委員会

活動がなされるのか行政側の解釈は。

産業課長 国等の指導により、女性・中立者を選定した。

柿島議員 農業委員の場合、月額16万円の基本給だが、町はどういうふうか理解しているのか。
産業課長 農地の権利移動に伴う現地確認等が主な業務と理解する。

議案第55号 過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部改正

渡辺議員 本町に該当企業があるのか。
税務課長 現在、該当する企業はないと思われる。

議案第66号 町道路線の認定

川口議員 幅員が4メートルから10メートルとなっているが状況説明を。

建設課長 丸滝分譲地の東区画の入口で、三叉路のため入口を10メートル、中が4メートル道路となっている。



丸滝分譲地内の町道

追跡

あの一般質問

どうなった!

議員の質問への当局の対応、回答はどうなっているのか!

問

道の駅しもべを活用した観光拠点の構築を。

(平成28年3月議会 故 松浦 隆議員)

答

ベストな活用方法を検討し観光に生かしていきたい。

その後

(産業課) 観光拠点として指定管理者の下部特産物食品加工組合と協議をすすめ善処していきたい。
施設は20年たち老朽化がすすんでいる。現在ホテルドームは閉鎖中。
国道300号線の改修でインバウンド集客も期待しているが、味噌づくり体験などの取り組みを進めていきたい。

問

災害対策活動拠点・指定避難所の耐震強度を満たしていない施設は。

(平成28年6月議会 深澤 勝議員)

答

活動拠点は安全な建物、避難所2施設が安全基準に満たない。

その後

(総務課) 原分館、勤労青年センター体育館の2施設が指定避難所の耐震基準を満たしていない。
地震対策としては近くに安全を確保できる耐震化した大きな施設がなく、今の時点で指定の見直しは難しい状況であるが、現状でも大雨・洪水の水害対策としては有効である。

問

高校生の通学の利便性向上は。

(平成28年6月議会 赤池 朗議員)

答

地域公共交通会議で審議する予定。

その後

(政策室) 平成29年4月より鰯沢口から身延高校、身延駅のバス運行が実施されている。
高校生の通学の利便性の向上をはかった。

議案に対する賛否 (賛成:○・反対:×・棄権:△・欠席:欠)		赤池朗	田中一泰	広島法明	柿島良行	芦澤健拓	河井淳	福與三郎	草間天	川口福三	渡辺文子	伊藤文雄	深澤勝	野島俊博
●条例の制定														●議長は採決に参加しない
議案第52号	身延町工場立地法に基づく緑地面積率等に係る準則を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第53号	身延町職員の配偶者同行休業に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
●条例の一部を改正する条例														
議案第54号	身延町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第55号	身延町過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第56号	身延町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第57号	身延町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
●補正予算														
議案第58号	平成29年度身延町一般会計補正予算(第2号)	5064万円増額補正(したれ桜の里事業整備植栽工事ほか)												
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第59号	平成29年度身延町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	33万4千円減額補正												
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第60号	平成29年度身延町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	339万円減額補正												
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第61号	平成29年度身延町介護保険特別会計補正予算(第1号)	184万3千円増額補正(システム改修業務委託料ほか)												
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第62号	平成29年度身延町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	52万1千円増額補正(介護予防ケアマネジメント業務委託料)												
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第63号	平成29年度身延町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	736万6千円減額補正												
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第64号	平成29年度身延町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	1万5千円増額補正(維持管理費)												
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第65号	平成29年度身延町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	37万5千円増額補正(維持管理費)												
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
●その他														
議案第66号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なしのため適任と意見を付すことに決定												
●人事案件														
同意第4号 から第17号	身延町農業委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

平成29年臨時会

第3回(5月11日)

●条例の一部を改正する条例														●議長は採決に参加しない
報告第1号	身延町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告第2号	身延町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
●補正予算														
議案第50号	平成29年度身延町一般会計補正予算(第1号)	9041万2千円増額補正(みのぶ自然の里改修工事ほか)												
		○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	
●その他														
議案第51号	身延町立身延清稜小学校大規模改修工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

第4回(7月7日)

●その他													
議案第67号	身延町みのぶ自然の里の指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×
議案第68号	財産の取得について(災害備蓄品等)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第69号	財産の取得について(普通消防積載車2台)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表彰

このたび、全国町村議会議長会より、本町議会議員の草間天氏が「自治功労者（町村議会議員15年以上在職者）」として表彰を受けました。



町村議会議員研修

日時 29年5月25日（木）
場所 山梨県自治会館

「舞台裏から見た政治とこれからの政局展望」と題し、政治評論家 有馬晴海氏の講演を聴いた。

全国町村議会議長・副議長研修会

日時 29年5月31日（水）
場所 中野サンプラザホール

今井照地方自治総合研究所主任研究員が「大震災における自治体と議会の使命」と題し講演が行なわれた。

その後、町村議会特別表彰を受けた北海道浦幌町・京都府精華町両議会議長による講演があり、両町議会の議会活性化のあゆみと現状について詳しく説明された。

そのほか田口一博新潟県立大学国際地域学部准教授による「議長・副議長のあり方」と題した講演を受講した。

組合議会報告

峡南衛生組合議会

視察研修

29年5月18・19日（木・金）

身延町参加議員 伊藤・川

口・福與・河井・深澤

甲府市峡東クリーンセンター

笛吹市境川町

●エネルギー棟

資源の回収 「ごみの中の鉄アルミその他の金属を「資源」として回収

エネルギー回収 国内最高水準の発電効率を達成、高効率なサーマルリサイクルで発電

●リサイクル棟 「ごみの減量化と資源化を図る。選別回収しリサイクルする。



クリーンヒルこもろ

長野県小諸市

●焼却施設 安全で安心な環境にやさしい施設

●リサイクル施設 「ごみに含まれる資源を回収する

●環境学習 環境型社会の推進を図る

●温浴施設 「ごみの焼却で発生する余熱を有効利用



長野森林資源利用事業協同組合

長野県長野市

県産材供給体制整備事業（森のエネルギー推進事業）

木質バイオマス発電施設

（地域エネルギー自給の推進と農林業の活性化）等

3か所の施設について現状や問題点を研修した。

飯富病院議会

包括ケアシステム検討特別委員会 29年6月19日（月）

6月定例会までにこれまでの経過を踏まえ結審する事になった。

定例会 29年6月28日（水）

・議案第4号 職員の旅費

に関する条例の一部改正

・一般質問 柿島議員

入院患者等の安全安心を守るための管理体制について



議員研修会

議会運営委員長 柿島 良行

- 研修年月日 平成29年1月12日(木) 身延町役場会議室
- 講師 長野県飯綱町議会議長 寺島 渉 様
- 参加者 議員 全員 14名 事務局 2名
- 研修内容 議会活性化・議会改革について



講師 飯綱町議会議長による研修会

身延町議会の活性化・議会改革を、議員全員が共通認識を持って推進するために、議会改革の先進議会として全国をリードしている長野県飯綱町の寺島渉議長を講師に迎え、議員全員が出席して実施した。

飯綱町議会が改革に取り組むことになった経緯と目指す議会の姿や取り組み経過等について、詳細な説明を受けた。

この研修を受けて、本町議会においても、議員間の自由討議をとおして、町民の皆様のご意見をもとに、政策提言をできる議会を目指す取り組みを始めている。

議員県外視察研修

- 研修年月日 平成29年6月29・30日(木・金)
- 参加者 議員 11名 事務局 2名

1日目 長野県松川町：松川町農村観光交流センター「みらい」・町直営の温泉宿泊施設「清流苑」

町づくり交付金事業で設立し、営農支援、都市住民との交流・情報発信の業務を中心に活発な活動を行っている。

「交流センターみらい」の視察、更に、観光を手段とする地域活性化の舵取りとして設立準備中の「観光局」の計画等詳細な説明を受け、有意義な意見交換を行った。

2日目 長野県上松町：買い物弱者への支援

上松町においては、買い物弱者支援事業として町・NPO法人・商工会が一体となって実施している移動販売車による買い物支援事業の詳細説明の後、移動販売の実態を視察する等これからの身延町において大変参考になる研修であった。



買い物弱者支援 移動販売風景

町村議会広報研修会

議会広報編集委員長 赤池 朗

- 研修年月日 平成29年7月4日(火) 東京都千代田区全国町村議員会館
- 参加者 議会広報編集委員 4名 事務局 1名
- 研修内容 本町議会広報のクリニック・編集のしかたについて

身延町の各種委員一覧表

※議決欄の○印は、議会の同意が必要な委員です。

モニター通信の議会広報モニターからの「身延町の各種委員を明記」の要望により掲載します。

身延町では、多くの委員の皆様のご協力により、住み良いまちづくりをめざしています。

名 称	委嘱者	人数	任期	所管課	議決
民生委員児童委員	厚生労働大臣	96人	3年	福祉保健課	
主任児童委員	厚生労働大臣	6人	3年	福祉保健課	
保護司	法務大臣	16人	2年	福祉保健課	
結婚相談員	町 長	13人	2年	福祉保健課	
身体障害者相談員	町 長	3人	2年	福祉保健課	
知的障害者相談員	町 長	2人	2年	福祉保健課	
介護保険運営協議会委員	町 長	8人	3年	福祉保健課	
健康づくり推進協議会委員	町 長	20人	2年	福祉保健課	
保健推進委員	町 長	150人	1年	福祉保健課	
食生活改善推進員	町 長	82人	任意	福祉保健課	
行政相談委員	総務大臣	3人	2年	総務課	
人権擁護委員	法務大臣	9人	3年	総務課	○
公平委員	町 長	3人	4年	総務課	○
固定資産評価審査委員	町 長	3人	3年	総務課	○
選挙管理委員会委員	町 長	4人	4年	総務課	○
消防委員会委員	町 長	10人	2年	総務課	
行政改革推進委員会委員	町 長	10人	3年	総務課	
財産区管理会委員(4管理会)	町 長	7人	4年	財政課	○

- ①西嶋財産区管理会委員
- ②曙財産区管理会委員
- ③大河内地区財産区管理会委員
- ④下山地区財産区管理会委員

恩賜林財産区管理会委員(8管理会)	町 長	7人	4年	財政課	○
-------------------	-----	----	----	-----	---

- ①大八坂及び川尻並びに山之神外十五山恩賜林保護財産区管理会委員
- ②広野村上外九山恩賜林保護財産区管理会委員
- ③第一日影みそね沢恩賜林保護財産区管理会委員
- ④第二日影みそね沢及び石原外二山恩賜林保護財産区管理会委員
- ⑤大久保外七山恩賜林保護財産区管理会委員
- ⑥仙王外五山恩賜林保護財産区管理会委員
- ⑦姥草里外七山恩賜林保護財産区管理会委員
- ⑧入ヶ岳外二山恩賜林保護財産区管理会委員

教育委員会委員	町 長	4人	4年	学校教育課	○
社会教育委員	教育委員会	15人	2年	生涯学習課	
スポーツ推進委員	教育委員会	20人	2年	生涯学習課	
文化財保護審議会委員	教育委員会	10人	2年	生涯学習課	
消費生活協力員	知 事	2人	2年	観光課	
国民健康保険運営協議会委員	町 長	12人	2年	町民課	
農業委員会委員	町 長	12人	4年	産業課	○
総合計画審議会委員	町 長	20人	2年	政策室	
土地利用審議会委員	町 長	10人	2年	政策室	
男女共同参画推進委員	町 長	13人	2年	政策室	
地域公共交通活性化協議会委員	町 長	19人	3年	政策室	
都市計画審議会委員	町 長	10人	2年	建設課	
下水道事業審議会委員	町 長	15人	2年	環境下水道課	
簡易水道運営審議会委員	町 長	15人	2年	水道課	
監査委員	町 長	2人	2年	議会事務局	○
議会広報モニター	議 長	7人	2年	議会事務局	

上表以外にも30以上の審議会・協議会・委員会等の委員さんがおりますが、議会広報編集委員会の判断で抜粋で掲載させていただきました。

★表紙について (No.50-p1)

- ・ピカピカの1年生がまぶしいですね。全員が6年後そろって中学校に進学できるといいと思いますが、子どもの数が少なく統合問題とかで転校する子どもが出てくるのではないですかね。
- ・あらたに開校したことを紹介する意図は理解できますが他の小学校の新一年生もいるわけですから、新年度の表紙の写真としてふさわしくない様に感じます。

★一般質問 (No.50-p6~9)

- ・人件費が他町と比較して突出しているようですが、厳しい財政事情の中で軽減化を図るのは人件費だと思います。職員が受け持つ割合を見ても他町と比較すると少なすぎます。
- ・みのぶ自然の里は残してほしいです。都会の子供達、親子で楽しめる場、学校行事等いろんな活用があるかと思えます。
- ・議員さんは現在13人いると思いますが、毎号同じ顔ぶれの様な気がするのですが。

★討論(No.50-p15)

- ・賛成・反対の意見の中で「ミス」の記載が見られますが、それぞれの部署でしっかりとチェックがなされているのか。公の機関でミスは許されないと思っています。

★民生委員・児童委員と議員との懇談会 (No.50-p17)

- ・高齢者が多い中での活動はご苦労が多く大変だと思います。
- ・身延町には民生委員の様な委員はどれ位いるのか(例えば結婚相談員)何かに明記して町民に知らせてもらえないでしょうか。 ※P18参照

モニター通信

(議会だよりNo.50の意見・感想等)

議会広報モニターの皆様のご意見・ご感想等を要約したものです。貴重なご意見等を参考に、町民の皆様の「心に伝わる」議会だよりを目指します。

★町長施政方針 (No.50-p4)

- ・「生まれて 育って 住んでよかった」の具体策が見えて来ない。
- ・町内交通網の利便性向上が施政方針にあり期待しています。

★特別委員会レポート (No.50-p10~11)

- ・今頃になって旧西島小の大規模改修工事とは、学校統合問題は以前から審議されていたはずですが、議会に不信感を感じます。

★議案に対する賛否 (No.50-p16)

- ・副町長を置くことに8人の賛成議員がいたようですが、明確な理由が分かりません。職員の数、人件費ともに他町より多いわけですから、町の行財政に卓越した生え抜きの職員を抜てきすることは考えなかったのですか。

★予算議会(No.50-p2~3)

- ・厳しい財政ですが、財源がないからと削減、縮小の行政でなく、将来展望に立った施策を考えてください。また、自主財源確保のためには、未収金、滞納金などの回収にも努めてください。

★教育長教育方針(No.50-p5)

- ・子供たちの声が聞こえなくなって2カ月、廃校になった学校のグラウンドには草が生え緑が濃くなってきました。統廃合だけして、あとはどこかで考えろでは困るのです。町できちんと今後の対応をしてください。
- ・子供は宝なので教育はきちんと考え、いじめのない環境や親子で楽しんで学べる場を作してほしいです。

★常任委員会レポート (No.50-p12~13)

- ・財産の取得については厳格に行うようにしてほしいと思います。

★質疑応答(No.50-p14)

- ・町営バス設置条例一部改正で政策室長が関係する地域で説明会を実施したと回答していますが地域とはどここのことを示しているのか住民は分からない、このことの追及が甘いと思いました。

★組合議会報告(No.50-p18)

- ・視察研修では研修議員さんの名前が以前は掲載されていましたが、行かれた方の公表は必要に思います。

★モニター通信(No.50-p19)

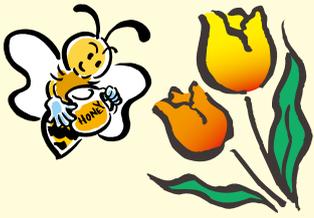
- ・反対あれば賛成あり。モニターの意見や感想は熟読された結果なのでおもしろく感じました。

★おじゃまします(No.50-p20)

- ・和太鼓の認知症予防効果、興味深く読ませていただきました。高齢化社会、後何年かして仕事をしなくてよくなったら私も入れてもらおうかなと思いました。

★町政全般についての意見、要望等

- ・空き家対策で入居される方には、組や区への参加とか何か規制がありますか。知らない人が別荘のような使い方をされており、馴染むこともなくかえって不安に感じております。防犯防災面からも心配になります。せめて区長への情報は提供された方がよいと思いました。



おじゃまします



身延町野球クラブ

第68回市町村対抗軟式野球大会 2連覇



平成29年5月21日(日)
「第68回市町村対抗軟式
野球大会」の準決勝、決勝
が行われました。

昨年王者として、追われる
立場になった重圧、強豪と
の連戦、全6試合が2点差
以内の接戦、苦闘を続け
る中で、持ち味の堅守や粘
り、チームの結束力が徐々
に高まり、見事に2連覇を
達成しました。



塩谷英士監督

「昨年の優勝よりも選手
たちの成長を感じた。厳
しい試合ばかりだったが、よく頑張ってくれ
た。」と選手を労ってい
ました。

来年は、平成3年に旧石
和町チームが達成して以
来の3連覇を目指します。

<過去3年の身延町チームの成績>

2014年	第65回大会	第3位
2015年	第66回大会	第3位
2016年	第67回大会	優勝

編集委員から

毎試合白熱した試合でしたが応援する人が少なく
寂しかった。

来年はもっと多くの町民の応援をお願いします。

編集後記

議会広報は年4回、基本的に定
例会(3月・6月・9月・12月)の報告
を中心に発行しています。

表紙の「あなたと町政を結ぶ議会
だより」として、1人でも多くの町民
の皆さんに読んでもらえるよう、委
員長を軸に議員自らの自主編集で
すが、毎回、少しずつでも進化する
ようにと頑張っています。(広島)

議会広報編集委員会

- 委員長 赤池 朗
- 副委員長 広島法明
- 委員 深澤 勝・芦澤健拓
- 委員 柿島良行・田中一泰



力投した 吉井一紘投手(左) 宝示翔平投手(右)

